

教材のダウンロード期限について

毎週金曜日の朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」というメールを、全ての購読者の皆さまにお送りしていますが、一部、メールの届いていない先生がいいらっしゃるようです。そのメールでは、以下のお願いをしています。

「できるだけ 3 週間以内に、教材をダウンロードして下さい。」

もし期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」

Instagram をお使いの皆さまには、毎週、金曜日のお知らせを出しているのですが、

メールが届かない方には、恐れ入りますが、フォローしていただけますよう、お願いします。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方について

- (1) 教材は Word ファイルでリリースします。不必要と思われる問題のカット（削除）、本文や設問のアレンジ、差し替え、加筆修正は自由です。先生方が授業で使いやすいように、お好きなように加工して下さい。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい（逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい）」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。私の判断で、英語が良いと思った設問は英語に、日本語が良いと思った設問は日本語にしています。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペリングや文法ミスがないか、細心の注意を払っていますが、間違いに気付いたら、後からホームページに訂正版を出しています。申し訳ありません。もしスペルミスや文法ミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に、「この英文を暗唱しよう!」というページがあります。毎回、重要な文法や使える表現を含むキーセンテンス3～5文を選んでいきます。これは「夢タン」などの参考書の著者として著名な木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道!」と教えていただいたことにより、8 月から始めました。文を暗唱してから本文を読んでも、全文を読んだから仕上げて英文暗唱しても、どちらでも良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://www.asahi.com/ajw/articles/15224216#:~:text=A%20ride%2Dsharing%20service%20started,a%20serious%20shortage%20of%20taxi.>

<https://asia.nikkei.com/Spotlight/Sharing-Economy/Japan-to-greenlight-limited-ride-hailing-services-next-year>

<https://japannews.yomiuri.co.jp/society/general-news/20231218-156434/>

<https://jen.jiji.com/jc/eng?g=eco&k=2024040800450>

<https://edu.gcfglobal.org/en/sharingeconomy/what-is-ridesharing/1/>

https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20240408_15/

<https://mainichi.jp/english/articles/20240413/p2a/00m/0bu/004000c>

<https://www.ridester.com/uber-vs-taxi/>

<https://www.nippon.com/en/japan-data/h01950/>

<https://www.cbsnews.com/boston/news/side-hustle-rideshare-driving-uber/>

<https://www.timeout.com/tokyo/things-to-do/tokyo-q-a-can-you-uber-in-tokyo>

<https://matcha-jp.com/en/9586>

<https://www.youtube.com/watch?v=nmAdLZx2YCU>

<https://www.youtube.com/watch?v=2ZDS5qT8h4c>

<https://www.youtube.com/watch?v=qHSOLmVinX4>

<https://www.youtube.com/watch?v=qxHDaEMM7EI>

1 ページ 単語テスト

- 単語テストからスタートします。QR コードから音声を聴いて、聞こえた単語を書き取って下さい。
- もちろん、音声を聴かないで、先生が教室で声に出して読んでくださった方がもっと良いと思います。
(時間がなければ、この単語テストを生徒さんの宿題にして、家でやってきてもらうのも良いでしょう。)
- 点線のところで切り取って下さい。上半分はテスト。下半分はテスト後、生徒さんに配って答え合わせしてもらって下さい。
- 単語テストとは、普通は、「プリントに英語が印刷されている→日本語で意味を書く」または、「プリントに日本語が印刷されている→英単語を書く」という形のものが多いと思います。この単語テストの形式は、「耳で聞き取った英単語の綴りを書き (Dictation)、なおかつ、その意味を書く」というもので、英語脳と日本語脳の両方を活性化することをねらったものです。英語ニュース教材「茅ヶ崎方式 英語会」の 単語テストを参考にしました。

2 ページ

Q1 (解答例) Taxis are driven by professional taxi drivers who have Class-2 license and belong to the taxi companies, while the ride sharing service allows regular drivers to use their personal vehicles to transport customers.

Q2 To address a shortage of taxi drivers amid an influx of foreign visitors to Japan.

Q3 Where? ⇒ In certain areas mainly in Tokyo.

When? ⇒ At certain times specified by the transport Ministry.

※詳しい時間帯は、こちらのニュース記事を参照して下さい。

<https://www.sankei.com/article/20240331-ZR56JNTP55L3VCW3R3PMUF7EUA/>

Q4 ★アメリカの Uber, Lift

★ロシアの Yandex Taxi

★中国の Didi

★ドバイの Careem

★エストニアの Bolt

★ヨーロッパの Free Now (本社はドイツ)

Q5 日本のタクシー業界が「ライドシェアを導入すると既存のタクシー運転手の仕事を奪いかねないし、タクシーの運転手が不足し続けているという根本的な問題の解決にもならない」と言って、ライドシェア導入に反対してきたから。

Q6 日本のライドシェア制度では、運転手はタクシー会社に雇われるが、

海外のライドシェア制度では、タクシー配車アプリに登録するだけでタクシー運転手の仕事を開始できる。

3 ページ

Q7 アメリカでは、普通のタクシーより Uber の方が、運賃が安い。一方、日本では、ライドシェアと普通のタクシーの料金は、ほとんど同じ。

Q8 By summoning a vehicle using a taxi dispatch app, such as “Go” and “S.Ride.”

Q9 最近、自分がタクシーを使った時の状況について、英語で説明して下さい。

(高校生の皆さんは、あまりタクシーを使わないかもしれませんが、ご家族と使った時のことを思い出して下さい。)

(1) どうやってタクシーを見つけましたか?

(解答例) I lined up at a taxi stop. / I caught a taxi on a street. / I called a taxi on the phone. /

I used “Go” app. など

(2) タクシーにどれくらい乗りましたか? (解答例) For 10 minutes. など

(3) 初乗り料金はいくらでしたか?

(4) タクシーの料金はいくらでしたか?

(5) どうやって支払いしましたか?

Q10 ★斉藤大臣：「ライドシェアのタクシーは安全であり、できるだけ早く日本中でこのサービスを始めたい」

★河野大臣：「ライドシェアの便利さを、多くの人に体験してほしい」

Q11 (回答のポイント) これらの地域ではタクシーが足りていないから、ライドシェアを導入する地域として選ばれました。なぜタクシーが足りないのかというと、①オフィス街で人口が多いから ②観光客が多すぎる観光地だからなどの理由があげられます。英語で書きましょう。

(解答例) In big cities like Tokyo, Yokohama and Nagoya, the shortage of taxis is always a big problem because these cities are full of office workers. Meanwhile, in Kyoto city, there are too many foreign tourists, and ordinary citizens cannot use public transportation. That's why the cities were chosen to launch the ride-sharing services first.

4 ページ

Q12 ウーバーイーツを使ったことがある人は、体験談を英語で書きましょう。

Q13 Uber Eats is convenient in that you can stay home and order your favorite food from your favorite restaurants without leaving your home or office.

Q14 ★安全のため健康状態をチェックすること。

★アルコール検出器でアルコールを接種していないか調べる(データは、本社のオフィスに転送される)

Q15 タクシー会社以外の会社がライドシェアの市場に参入することを許可すべきかどうか

Q16 20~50 代の自営業者、専業主婦など

Q17 1 位 倉庫での仕事 / 2 位 季節労働 / 3 位 ライドシェアの運転手

Q18 ライドシェアサービスを使ってみたいかどうか、意見を発表して下さい。

(解答例) ★I want to use the ride-sharing service. Especially on weekdays, it is hard to catch a taxi. If I don't have to wait for a long time, I would use the ride-sharing service.

★I don't want to use the ride-sharing service, because I trust professional taxi drivers.

Q19 (解答例) ChatGPT に書いてもらった作文が語彙も構文も難しすぎたので、私が半分くらい修正した回答例を載せます。

★I believe employers should allow their employees to have a side job for two reasons.

First, it becomes possible for employees to earn extra income to support themselves and their families, especially if their main job doesn't pay enough. Secondly, having a side job can help employees develop new skills and come up with new productive ideas. It will eventually help their primary job, making the companies earn more profit.

★I don't think employers should allow their employees to have a side job for two reasons. First, if employees prioritize their side job over their main jobs, it will harm productivity and quality of their primary work. Secondly, side jobs can also lead to fatigue and burnout, especially if employees work too long hours every day to juggle both jobs. This could give bad influence on their performance and well-being.

指導の手引 最近では社会問題や国際関係問題が多かったので、今日は経済ニュースを取り上げます。ライドシェアについて、私自身が深く興味がありました。(まだ使っていませんが、アプリ GO はよく使います) 参考図書として小説 "All we ever wanted" を紹介しましたが、これ以外にもアメリカの小説を読んでいると頻繁に Uber が登場します。また、海外の友人(主にアメリカ、中国、ヨーロッパ)と話していて「なぜ日本には ride-sharing services がないの?」と質問されることが何度ありました。ライドシェアについてどう思うか、高校生の皆さんとぜひ議論してみてください。